



「百花繚乱～最高の仲間と咲き誇れ～」



開会まで雨をしのぎながら吹奏楽部の演奏



【選手宣誓の大役を務めて】

本部が慌ただしかった中、「選手宣誓、頑張っ！」と励まされ、とっても緊張してしまい、心の整理がつかず、本番で言葉が詰まってしまいました。ですが、本部席に戻った時に、「かっこよかったよ！」と励ましの声がたくさん寄せられ、すごく嬉しかったです。

「私たちは、まだまだ小さな蕾（つぼみ）。」運動会が開催される前までは、準備や積み重ねてきた練習は「小さな蕾」だったのですが、運動会を通して、笑顔や嬉しさ、悔しさが「一つの大きな花」となり、最高の運動会となりました。

第32回運動会実行委員長 3年女子



テントの下でのラジオ体操



3年学年種目「大ムカデ競争」…各色のTシャツを着た担任も必死の追走で応援…さて勝利の行方は…



1位! 赤組!

【大ムカデ競争を振り返って】

学年練習や昼休みの時に練習をしている時は、つまづくことが多かったり、倒れてから立ち上がるまでが遅かったりしましたが、皆でどうやったらつまづかないか、立ち上がるのを早くしよう、などと話し合い、だんだんうまくなっていき、本番では1位を取ることができました。赤組の1・2年生や保護者の皆さんの「頑張れ〜!」とか、「行け〜!」などの声かけは本当に力になりました。ありがとうございました。そして、何よりゴールしたクラスから他のクラスを応援するなど、学年全員が一生懸命に楽しく、頑張っていたので良かったと思いました。

3年A組運動会実行委員 3年男子

【原中ソーランを振り返って】

「原中ソーラン」は、まさかのプログラム1番で、驚きと喜びで頭がいっぱいでした。2年生の3学期から活動を始めていたので、このメンバー全員で最高の景色を見ようと目標を掲げ、注意されたこともたくさんありましたが、本番では全力を出し切れ、原中生全員が一つになった気がしました。最後の「原中ソーラン」。最高な仲間と共に最後まで全力を出し切れたことは、一生の思い出です。ありがとうございました。

原中ソーラン・リーダー 3年女子



ノーサイドで記念撮影



雨の中、全員が全力で最高の演技を見せた全校生徒による「原中ソーラン」



幻となった優勝杯の行方は…。

全校生徒の皆さん一人一人の心の中に贈ります。よく頑張りました!

5月31日(土)に、第32回運動会が行われました。雨の中、「原中ソーラン」と3年生の学年種目である「大ムカデ競争」を行いました。大ムカデでは、何度転んでも立ち上がり、みんなで声や足をそろえて1周走り切りました。今回の運動会は、悔しさが残る運動会でしたが、原中伝統のソーラン節では、全校生徒の必死に踊っている姿、表情がとても凛々しく、生徒一人一人が一番星のように輝いていました。

保健体育科 竹内 沙良